

五つの宝



泉八小だより 第18号

令和3年11月25日

校長 井上 雅晴

子どもたちは、いろいろな体験から学んでいます!

木工教室 (緑の少年団)

泉第八小学校では体験を重視し、いろいろな方の協力を得て、さまざまな体験学習を実施しています。今回はそれらをご紹介します。

公益社団法人熊本県緑化推進委員会が青少年緑化活動促進事業として行われている「緑の少年団」の活動の一環として行いました。

泉第八小学校では「泉蜂の子少年団」として活動しています。

当日は、八代若杉会、八代地域木材需要拡大推進協議会、県南広域本部林務課から講師がおいでになり、**本立てづくり**を教えていただきました。最初はのこぎりや金づちの使い方にとまどっていたようですが、次第に慣れてくると、子どもたちは上手く使いこなすことができていた様子です。できた本立ては家に持ち帰り、「大切に使います!」とっていました。



和菓子づくり体験

熊本県職業能力開発協会の事業を活用して**和菓子づくり**を体験しました。当日はものづくりコーディネーターの吉澤さんと**中原松月堂**(菊池市)の中原さんにお越し頂き、「桜」「蜜柑」「キティちゃん」の3つの和菓子づくりに挑戦しました。

中原さんがつくる和菓子は簡単そうに見えましたが、実際に体験すると「あん」を

包むのも大変でした。夏綺さんは「お菓子づくりをすると心がうれしくなりました。」「お菓子屋さんになりたいと思いました。**夢がひとつ増えました。**」と感想を述べてくれました。



「しょうゆもの知り博士」に学ぶ

日本醤油協会の「しょうゆもの知り博士」派遣事業で、久保田しょうゆもの知り博士(人吉の釜田醸造所統括部長)に来校していただき、**おしょうゆがどのようにしてできていくのか**、くわしく教えていただきました。

「大豆」と「塩」と「小麦」の3つ材料と「水」をまぜ、「麴(こうじ)」のはたらきで「もろみ」をつ作り、もろみを搾ると「醤油」ができることにみんな驚いていました。手に取って観察したり、匂いを嗅いだり、味見をしたりと、様々な形でおしょうゆの作り方を体験し、醤油や味噌づくりに潜む日本人の知恵を感じることができました。

